

経営改革専門委員が従事した職務に係る情報

職務の内容	経営戦略方針(素案)についての意見照会
日時	令和元年(2019年)5月13日～5月24日
委員名 (敬称略)	経営改革専門委員 生駒 京子 経営改革専門委員 小谷 美樹 経営改革専門委員 高橋 一夫 経営改革専門委員 野田 遊

<主な意見>

【生駒委員】

- ダイバーシティを進めていくためには、男性の育児休業・子育て支援を推進することが大切。
- 社会人インターンシップを活用し、市内企業の活性化を支援していく必要がある。
- ベンチャーエコシステムを構築し、豊中を国内外のスタートアップ起業の集積地としていってはいかがか。
- ICT化を進めていくためには、まずキャッシュレス化の積極的な推進が必要。

【小谷委員】

- スマートオフィスを推進するため、情報の一元化、全ての職員がアクセスできるITインフラの整備が効果的である。
- 男女とも活躍する社会を創るためには、男性の育児休業を推進し、男女の育児両立支援を行う必要がある。
- 女性活躍を推進するには、輝く女性活躍表彰などを創設し、企業や会社経営などで活躍する女性をロールモデルとして表彰するなど、女性が活躍できるまちづくりの推進を行う必要がある。

【高橋委員】

- 「中期行財政運営方針」を「経営戦略方針」とする意図をはっきり示す必要がある。
- 「基本政策」と「経営戦略方針」の位置づけの整理が必要。
- 誰を対象にマネジメントをするのか、期待する効果や成果も併せて示すことが大切。

【野田委員】

- 会議運営の効率化を進めると同時に、「生産性・成果向上戦略」に位置付けるべき。
- 事業の優先順位付けと削減の徹底が必要。未来への効果的な投資のためには、役割を終えつつある事業を着実に中止していく必要がある。
- 主要な課題、政策と予算、政策について、わかりやすさと継続性を軸に、経過も含めて伝えられる仕組みが必要。